

## ■薬剤部

### 1. 2021 年度の目標及び方針

#### 1) 薬剤部の使命

我々は、全ての人々に安心、安全かつ最高水準の医療を提供するためにチーム医療における全ての薬物療法に責任を持つことを使命とする

#### 2) 2021 年度目標

1. 医療費適正計画を推進する。
2. がん患者に対するケア、サービスを向上させる。
3. 他職種横断的連携を図り、病棟業務を充実させる。
4. 患者様中心の切れ目のない薬物療法を展開する。
5. ICT を利活用した地域医療における医薬品情報の共有と活用を構築する。

視点	No	項目	KPI No	業績評価指標 (KPI)
財務	A-1	財務基盤の安定化	1	薬剤管理指導件数
			2	病棟業務算出金額
			3	がん化学療法関連算定金額
	A-2	医療収入性の向上	4	退院時薬剤情報管理指導件数
			5	薬価遡減回避金額
	A-3	コスト削減	6	薬剤在庫金額
			7	薬剤廃棄金額
			8	ジェネリック医薬品使用率
			9	BS (バイオシミラー) 製剤使用量
顧客	B-1	外部顧客満足度向上	10	薬待ち時間
			11	患者アンケート結果
			12	化学療法施行患者初回指導件数
B-2	内部顧客満足度向上	13	職員アンケート結果	
内部プロセス	C-1	医療の質の継続的改善	14	処方介入による薬剤の適正使用推進
			15	処方支援による薬剤の適正使用推進
			16	シームレスな患者管理に向けた指導内容の強化
			17	個別指導による対面指導強化
			18	薬剤関連のインシデント対策
			19	副作用・アレルギー情報の充実
			20	PMDAへの副作用報告
			21	業務改善・効率化の実施
			22	周術期における薬剤師業務の推進
			23	院内製剤のモニタリング強化
			24	RMP活用による薬剤の適正使用推進
	25	がん患者ケア・モニタリングの強化		
	C-2	医療情報システムの再構築	26	新規カルテ導入に向けたシステム改善
			27	医薬品情報利活用向上のためのシステム改善
	C-3	要員の安定確保	28	部員全員および薬剤師の生産性の向上
			29	残業時間
C-4	施設の整備と効率的運用	30	3年目、5年目離職率	
		31	末梢混合調製ロボットの導入	
学習と成長	D-1	職員満足度向上	32	閉鎖式接続器具のデバイス評価
	D-2	職員の質向上と人材強化	33	職場風土調査
			34	学術発表件数及び学術論文の投稿件数
D-3	職員教育の充実	35	認定・専門薬剤師の育成	
			36	学会・研修会への参加
			37	職員必須セミナーの受講推進

## 2. 2020 年度評価

以前より後発医薬品への切り替え推進を継続的に行い、数量ベースで使用率 80%以上（亀田総合病院 入院+外来）を目標としている。診療科の合意があったものについて、医薬品評価を行った上でコストメリットがあるものを切り替えており、2020 年 6 月より 80%以上を維持し 2021 年 3 月時点では 81.7%であり継続して目標を達成した。さらなる切り替え推進を図るため、新たに吸入薬と点鼻薬について医薬品評価基準を作成し、2021 年度に作成した評価表を用いて評価を実施する予定であり継続目標としている。

シームレスな薬物療法の展開として、手術室への薬剤師常駐を 2018 年 9 月より開始し、手術予定患者の情報収集を事前に行い、麻酔科医へ薬剤アレルギー情報など注意すべき情報を提供している。また、手術室情報システム（Prescient OR）の導入計画において薬品関連のマスタ登録作業を担当し、また以前より問題となっていた薬剤のコスト請求もれや実施入力もれを防ぐためにシステム改善を行った。

医師、看護師等と協働するチーム医療の一環として、抗がん剤投与前に薬剤師が患者さまのもとを訪れ、症状を確認することにより、副作用対策の提案等を行う薬剤師ラウンドを継続し、抗がん剤治療の安全確保に貢献した。また、診療部と連携し減薬減量に取り組み不要な薬剤の削減や、多剤併用による副作用の軽減に寄与した。血液・腫瘍内科、循環器内科、乳腺科においては、入院治療計画書にあわせて、薬物治療計画書を薬剤師が作成し、入院期間中の薬物治療について患者への説明を実施した。2019 年 4 月に発生したタゾバクタム/ピペラシリン水和物の製造停止に伴い、感染症科と協働し Extended-Infusion への投与を推奨し、限られた資源を有効活用することで治療の継続を可能にした。また血液・腫瘍内科では、Extended-Infusion に関する処方支援手順書を作成し、薬剤師が Extended-Infusion の処方支援を実施した。

クリニック外来の患者さま待ち時間については、80%の患者さまに 30 分以内にお薬をお渡しするという目標の達成が厳しくなった。2020 年 7 月以降は、目標を達成した月の営業日が 10 日以下になり、2021 年 1 月以降は 2 日となった。外来患者に対して、お薬手帳の情報として電子お薬手帳に対応した QR コードの発行を開始した。後発医薬品の使用率は 68.3%となった。外来患者指導においては、従来からの吸入指導、自己注射指導、C 型肝炎治療支援、白内障術前指導に加え、リウマチ患者の支援として診察室での薬剤指導を開始した。また、周術期術前外来の一環として、手術前の薬学的管理を展開している。

RI 業務においては、従来の放射性医薬品の調製業務に加え、併用禁忌薬のチェックなど処方監査業務も継続して行っている。

## 3. 年間活動内容・実績

### 1) クリニック薬剤室：調剤数[表 1]

	処方せん枚数	調剤件数	調剤日数
外来	310,239	708,747	9,444,458
在宅	158	429	5,256
往診	2,414	-	-
入院	22	45	527
退院	69	126	1,570
注射	13,574	-	-

2) クリニック薬剤室：外来服薬指導件数[表 2]

	吸入指導件数	ピークフロー指導件数	自己注射指導件数	C型肝炎治療支援	服薬説明	白内障指導	術前外来	薬剤師外来
4月	83	1	17	1	2,118	47	43	268
5月	47	2	15	8	2,062	51	52	272
6月	65	3	15	7	2,778	54	91	309
7月	50	0	10	3	2,225	51	160	269
8月	71	0	14	2	2,198	46	130	252
9月	73	0	10	6	2,246	47	59	426
10月	72	0	11	3	1,956	56	41	283
11月	50	0	12	4	2,484	57	215	159
12月	79	0	8	4	1,777	23	32	290
1月	89	2	14	10	2,415	61	61	338
2月	77	0	12	11	2,680	53	69	421
3月	63	1	13	8	2,148	59	66	502
総計	819	9	151	67	27,087	605	1,019	3,789

3) 院内調剤科：調剤数[表 3]

	処方せん枚数	調剤件数	調剤日数	カートセット件数
入院処方	156,723	285,046	1,833,439	14,434
外来処方	21,396	52,682	531,264	-

4) 注射調剤科：調剤数[表 4]

処方せん枚数	253,233
末梢混合調製本数	36,328
TPN調製本数	5,130
オペ室用麻酔トレーセット供給数	8,601
術後IVPCA調製数	214
PCAポンプカセット調製数	126

5) 化学療法科：調剤数・外来患者指導件数[表 5]

全処方せん枚数	19,692
抗がん剤混合調製本数	24,300
外来がん化学療法加算算定件数	9,014
外来患者指導件数	1,050

6) 製剤科：院内製剤の調製数[表 6]

内服剤	7,481
注射剤	160
眼科用剤	850
耳鼻科用剤	2,643
歯科・口腔用剤	384
皮膚科用剤	2,772
泌尿器用剤	79
消毒用剤	1,243
検査・診断用剤	643
漢方煎じ薬	21,626
軟膏剤	8,368
その他	1,626
総計	47,874

2016年度より院内製剤の分類を変更

7)薬務科：薬品請求件数[表 7]

定時請求	10,943
臨時請求	13,922

8)臨床薬剤科：臨床薬剤件数[表 8]

薬剤管理指導	17,197
退院時服薬指導	1,634
麻薬管理指導	483

9)DI科：業務実績[表 9]

定期刊行物発行	12
DI科発行お知らせ	228
Q&A件数	768
新規採用医薬品等説明会	13
新薬ヒアリング 件数	72

10)放射性医薬品科：業務実績[表 10]

PET 放射性診断薬*品質管理件数	241
RI 放射性医薬品調製件数	728

\*18F-FDG注射薬（[18F]標識 2-デオキシ-2-フルオロ-D-グルコース）

4. 教育・勉強会

1)部内職員教育

- ①臨床薬学・疾患管理関連の研修会の開催
- ②職能団体関係研修会・講習会・講演会の参加
- ③認定・専門領域薬剤師養成への支援・環境の整備

< 専門薬剤師資格取得者 >

- ・ 日本病院薬剤師会 日病薬生涯研修履修認定薬剤師 1名
- ・ 日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師 34名
- ・ 日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師 1名
- ・ 日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師 1名
- ・ 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 8名
- ・ 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師 6名
- ・ 日本薬剤師研修センター 漢方薬・生薬認定薬剤師 1名
- ・ 日本薬剤師研修センター 小児薬物療法認定薬剤師 1名
- ・ 日本アンチ・ドーピング機構 スポーツファーマシスト 3名
- ・ 日本医師会 医療安全推進者 1名
- ・ 日本病院会 医療安全管理者 1名
- ・ 日本医薬品情報学会 医薬品情報専門薬剤師 3名
- ・ 日本医療経営実践協会 医療経営士3級 3名
- ・ 日本医療情報学会 医療情報技師 4名

- ・日本医療薬学会 がん指導薬剤師 2名
- ・日本医療薬学会 がん専門薬剤師 1名
- ・日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師 1名
- ・日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師 1名
- ・日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師 1名
- ・日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師 2名
- ・日本緩和医療薬学会 緩和医療暫定指導薬剤師 1名
- ・日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士 5名
- ・日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション指導士 1名
- ・日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士 1名
- ・日本くすりと糖尿病学会 糖尿病薬物療法准認定薬剤師 1名
- ・日本核医学会 核医学認定薬剤師 3名
- ・日本麻酔科学会 周術期管理チーム薬剤師 3名
- ・日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師 2名
- ・日本骨粗鬆症学会 骨粗鬆症マネージャー 1名
- ・日本小児臨床薬理学会/日本薬剤師研修センター 小児薬物療法認定薬剤師 1名
- ・American Heart Association BLS Provider 1名

<BLS、ACLS 資格の取得薬剤師>

- ・BLS 認定者 84名 (うち2名 BLS インストラクター資格取得者を含む)
- ・ACLS 認定者 77名 (うち1名 ACLS インストラクター資格取得者を含む)

2) 院内他部署との連携

看護部向けの講義 (ナースのための薬学講座 全9回)

特定行為に関する講義 (全9回)

3) 専門職における人材の養成の支援

薬学部病院実習への受け入れ : 2020年度 19名

4) 実務薬剤師レジデンシープログラム

TTSP (TTSP for Pharmacy Practice Residency Program, TTSP-PPR) :

一年次レジデント 2名

5. 学術関係発表者

1) 原著論文・症例報告

Yoshiaki Yokoyama

Chorea-like symptoms and high blood concentration of ceftriaxone in a patient undergoing hemodialysis: A case report.

Naoto Hosokawa, Toshiyuki Kudo, Hitomi Goda, Kiyomi Ito, Masanori Suzuki, Ryohkan Funakoshi  
Journal of Infection and Chemotherapy, 26(3), 285-8(2020)

船木麻美

CD34 陽性細胞測定に基づくプレリキサホルの投与に関する経済性評価

伊勢崎竜也, 川名真理子, 舟越亮寛, 亀井美和子

医療薬学, 46, 341-353(2020)

渡部和幸

神経性やせ症に合併した便秘に対して麻子仁丸が有効であった一症例

平田一耕, 大上俊彦, 舟越亮寛, 石毛敦

日本精神薬学会誌, 4(1), 50-56 (2020)

平田一耕

Droperidol Reduces Postoperative Nausea and Vomiting and Supports the Continuation of Intravenous Patient-Controlled Analgesia with Fentanyl.

Masahiro Iwamoto, Hiroki Matsui, Hiromi Yoshinuma, Ryohkan Funakoshi.

J Pharm Pharm Sci, 23, 220-230, 2020.

平田一耕

小腸部分切除後の癒着性腸閉塞に対して茯苓飲を使用し手術回避となった1症例

舟越亮寛, 石毛敦

日本病院薬剤師会雑誌 56, 57-60, 2020.

Yoshiaki Yokoyama

Review of the first comprehensive outpatient parenteral antimicrobial therapy program in a tertiary care hospital in Japan

Ryota Hase, Yoshiaki Yokoyama, Hiroyuki Suzuki, Shunsuke Uno, Takahiro Mikawa,

Daisuke Suzuki, Kiyoharu Muranaka, Naoto Hosokawa

Int J Infect Dis. 2020 Jun; 95:210-215.

## 2) 雑誌関連

川名真理子

第218回新薬くろ〜ずあっぷ 「エベレンゾ錠 20mg, 50mg, 100mg (ロキサデュスタット)」

調剤と情報, 26, 9, 1674-1682 (2020)

川名真理子

慢性疾患治療薬の使い分けと患者モニタリング 「気管支喘息」

調剤と情報, 26, 15, 2654-2663 (2020)

舟越亮寛

今日の治療指針 2021年版 「2021年版—私はこう治療している」

今日の治療指針：服薬指導・薬剤情報

舟越亮寛

「2020年度診療報酬改定 監修」

医療関係者向け情報サイト「MINKweb」

舟越亮寛

「エキスパートインタビュー」

医療関係者向け情報サイト「診療報酬 info ナビ」

舟越亮寛

【書評】「薬歴・指導記録の書き方」(編著：寺沢匡史)

薬局 2020 Vol.71 N01

3) 学会・研究会発表

和泉早矢香、鈴木正論（共著）

高齢入院患者におけるフレイルと不適切処方との関連

森崎結香子，佐藤雅貴，和泉早矢香，鈴木正論，舟越亮寛，真野泰成

第 140 回日本薬学会年会

4) 講演・シンポジウム

舟越亮寛

シンポジウム 29 「患者安全の確保に期待される薬剤師の役割 有事対応と平時の活動について」

第 30 回日本医療薬学会年会 WEB 開催

2020 年 10 月 24 日

舟越亮寛

シンポジウム 45 「患者安全視点で捉え直す周術期薬物療法管理」

第 30 回日本医療薬学会年会 WEB 開催

2020 年 10 月 24 日

舟越亮寛

シンポジウム 54

「地域包括ケアシステムにおける患者と医療をエビデンスで支える地域フォーミュラリーのススメ」

第 30 回日本医療薬学会年会 WEB 開催

2020 年 10 月 24 日

舟越亮寛

シンポジウム 1 「今こそ考えよう！これからの RMP の役割～公表開始から 7 年経って～」

日本病院薬剤師会 関東ブロック第 50 回学術大会 ライブ配信

2020 年 10 月 31 日

舟越亮寛

シンポジウム 6 「医療安全文化の醸成」

日本病院薬剤師会 関東ブロック第 50 回学術大会 ライブ配信

2020 年 10 月 31 日

舟越亮寛

シンポジウム 5 「医薬品の適正使用について

～医療従事者が医薬品の適正使用の重要性を認識するためのシンポジウム～」

第 41 回日本臨床薬理学会学術総会

2020 年 12 月 3 日

5) 講師

横山泰昭

亀田総合病院における AST と薬剤師

城西国際大学薬学部 病院機能特論

2020 年 9 月 17 日

川名真理子

わたしのキャリアパスと医薬品情報（DI）の利活用

2020年度 第2回「なの花アカデミー」集合研修会

2020年10月25日

舟越亮寛

薬の評価と選択について

富山県病院薬剤師会 令和2年度富山県病薬研修委員会第1回研修会

2020年8月15日

舟越亮寛

医療機関・薬局における薬剤師業務研究の進展と医療情報への期待

第40回医療情報学連合大会/第21回日本医療情報学会学術大会

2020年11月20日

舟越亮寛

医薬品安全管理責任者の責務について

日本病院薬剤師会 令和2年度医薬品安全管理責任者等講習会（基礎編）WEB

2020年11月28日

舟越亮寛

医療安全対策委員会の取り組みについて～医療安全に関する最近の話題～

日本病院薬剤師会 令和2年度医薬品安全管理責任者等講習会（本編）WEB

2020年11月29日

舟越亮寛

術後合併症予防の質向上のための薬剤師の必要性

第42回日本手術医学会総会

2020年12月4日

舟越亮寛

「骨粗鬆症リエゾンチームの活動－災害とBCPを含めて－」

医療政策セミナー2021 in 下関 特別講演

2021年1月7日

舟越亮寛

鹿児島県内におけるRMP利活用の推進

鹿児島RMP推進フォーラム

2021年1月12日

舟越亮寛

地域医療における薬薬連携の重要性について

地域医療WEBセミナー in BOSO

2021年1月13日

舟越亮寛

「基幹病院とエリアのフォーミュラリーについて」

フォーミュラリーWebセミナー in 南房総

2021年1月20日

舟越亮寛



令和2年度診療報酬改訂の概要・今後の動向と各施設での取り組み

令和二年度千葉県病院薬剤師会医療政策・診療報酬研修会

2021年1月23日

舟越亮寛

「地域中核病院におけるBS使用促進の取組とアウトカム」

マイランEPD薬剤師向けWeb講演会

2021年1月25日

舟越亮寛

「病棟薬剤師の今後について ～薬剤師を取り巻く社会変化に対応するために～」

病棟薬剤師スキルアップセミナー

2021年2月17日

舟越亮寛

「コロナ禍における薬剤師の働き方改革 ～薬剤師を取り巻く社会変化に対応するために～」

グラクティブWEBライブセミナー

2021年3月8日

#### 6) 講義・研修実績

<院外>

亀田医療大学講義（全7回）

亀田医療技術専門学校講義（全8回）

<薬剤部内>

集中講義（全8回）

#### 7) 座長・オーガナイザー・司会

舟越亮寛

南房総臨床薬学セミナー

2020年12月13日

舟越亮寛

南房総臨床薬学Webセミナー

2020年5月10日、9月3日、10月8日、10月9日、11月12日、12月10日

2021年1月14日、1月21日、2月4日、2月26日

舟越亮寛

神奈川千葉臨床薬学Webセミナー

2020年7月17日

舟越亮寛

安房薬剤師セミナー

2020年10月16日

#### 8) その他

岡田拓朗

他分野から見た公認スポーツ栄養士の役割 他職種の役割とスポーツ栄養士との連携  
スポーツファーマシスト エッセンシャル スポーツ栄養学（日本スポーツ栄養学会監修），14-1  
舟越亮寛

千葉県薬業団体連絡協議会（令和2年度「薬と健康の週間」における表彰）

表彰内容：一般社団法人千葉県病院薬剤師会長表彰

舟越亮寛

Advanced Pharmacist Seminar in 千葉埼玉 世話人会

文責：舟越亮寛